

ないし、みんなのこと全然知らないなって。でも主務やってたらみんなと仲良くできるかなって。あと、みんなのために動くのって好きだし。だから、今主務としてやって、色んな人と関わられて、知れることいっぱいあるし、それが面白いなって思ってる。

——ありがとうございます。

そしたら、主務二人がお互いについてどう思っているのかについて教えてください。

朝霧：お互いかあ、恥ずかしいな(笑)

松島：あ、じゅんきは監督とっぱい連絡とってくれてるから助かる。

朝霧：あ(笑)。なんか正直に言うと、最初っー(松島)が怖くて(笑)。

松島：わり、ごめんなさい。

朝霧：違う違う(笑)。

主務っていう役割につかせてもらって、自分は仕事ができないけど、っーは仕事ができるイメージがあって、何だろう、すごく俺のこと「仕事遅いなって思ってるんだろな」って思ってた。

だけど、幹部会議で色々あって、それを機に、何て言うんだろ、言いくいんだけど、「っーも俺と同じでもろいんだ」って感じるようになって、そこからは怖いと思うことが無くなった。俺が後ろ向きな人間だから、仕事できないって思われてんだろなって思いながら仕事してた。

松島：そんなこと思ってないよ。

なんかあの幹部会議から連絡も早くなったよね。何だろう、注意したら絶対傷つくって思ってたけど、今は大丈夫というか(笑)。

なんか、さっきも言ってたけど、私も誰よりも自分に自信なくて、全体のグループに文章送るときもこれでいいかなって何回も確認してから送ってる。

——なるほどね。そしたら質問も最後のほうになってくるんだけど、主務としての意気込みみたいなのを教えてください。

朝霧：なんだろ、みんなが楽しく、陸上できる環境を作ってあげたい。あと、意見を幹部に言いやすい運営ができればいいなって思う。でもまだ自分がしっかりと意見を言うことができないから、まずは自分がしっかりと意見を言えるようになりたい。

松島：最初、主務は事務的なことがほとんどなのかなって思ってたけど、部の方針とか気持ちとかを話すことも多くて。そういうところから改善していくのは、責任重大だけど、私はそういうところで貢献していきたい。

あとはいろんな人と関わって意見が言いやすい環境にもしたい。あとは温かいところにしたいなって思ってる、陸上部を。みんなが仲良く、まあ、「仲良し集団じゃダメ」っていうけど、まずはみんなが仲良くなって、いい環境にしていきたいなって思ってる。

——なんか、主務が取り上げられることってそんなになかったから、これを機に主務の大変さと、主務の部に対する想いみたいなのが伝わればいいなって思います。そしたら、最後の一年の抱負を教えてください。

松島：最後の抱負は、「自己ベストを出す」。そしてここ(学芸)で良かったって思いたい。ここで、この人たちが良かったって思いたい。